

第12期 (2025年度)

ジャーナリズム公開講座(全12回)

第2回 5月27日(火) 18:30~20:30

トランプ時代の中東紛争

現代の中東紛争の4大要因は、スンニ派のイスラム過激派、独裁者、イスラエル、イランだが、スンニ過激派は低迷期に入り、独裁者もシリアで打倒され退潮している。現在の流血を引き起こしているのはイスラエルとイランと言えるが、そこにトランプ米政権が登場し、ますます混迷が加速している。イスラエルとイランの工作などインテリジェンス戦の視点から、これらの紛争の深層に迫る。

軍事ジャーナリスト 黒井 文太郎



【講師略歴】1963年福島県いわき市生まれ。福島県立磐城高校、横浜市大文学部国際関係課程卒。講談社に入社、週刊誌編集者として勤務。退社後、フリージャーナリストとしてニューヨーク、モスクワ、カイロを拠点に国際紛争を取材。帰国後、月刊『軍事研究』記者、『ワールド・インテリジェンス』編集長などを経て軍事ジャーナリスト。著書に『中東紛争』、『工作・謀略の国際政治』、『謀略の昭和裏面史』、『プーチンの正体』、『イスラム国の正体』、『北朝鮮に備える軍事学』など多数。

申込方法(要事前申込/先着)

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー

右の二次元コードまたは下記のホームページからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。



●申込期限

5月26日(月)17:00